



# 酒井たくや

## REPORT | 2020 SPRING II |

発行：立憲民主党・無所属議員団 中野区中野 4-81 Phone:03-3228-8876 Fax:03-3389-8718

### 年間1468億円の中野の予算 皆さんの考え方をお聞かせ下さい。

「税金が取られる感覚」から「納めている」と少しでも感じて頂けるよう、議会活動に励んで参ります。予算特別委員会の報告です。

2020.3.31 時点作成

### これ1枚でわかる令和2年度予算

税収は好調で、区財政も健全であります。今後、公共施設の更新が多数控えております。また、新型コロナウイルス感染症の区財政への影響は甚大で予断を許さない状況であります。

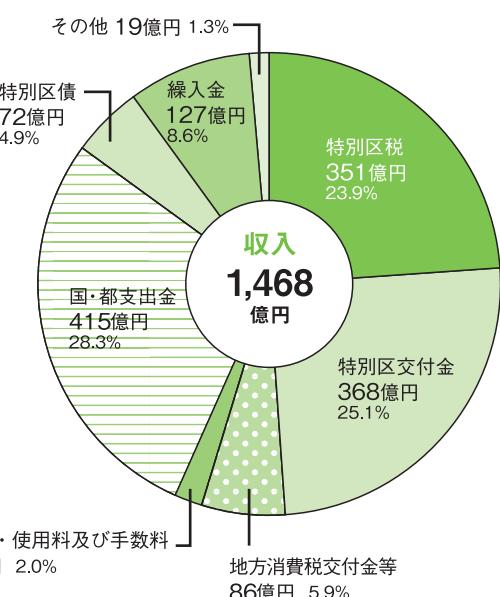


#### 新しい公共の創造と行財政改革

**Q** 前区政の区立幼稚園、保育園、児童館の全廃の考えから大転換し、存続とした新区長の「新しい公共への取り組み」は高く評価する。しかし、それには大きな財政出動も伴い、**行財政改革の取り組みは不可欠**である。見解は。

**A** 事業の選択と集中を図ると共に、不断の事業見直しを進め、行財政改革にも着実に取り組んでいく。

(予算特別委員会)

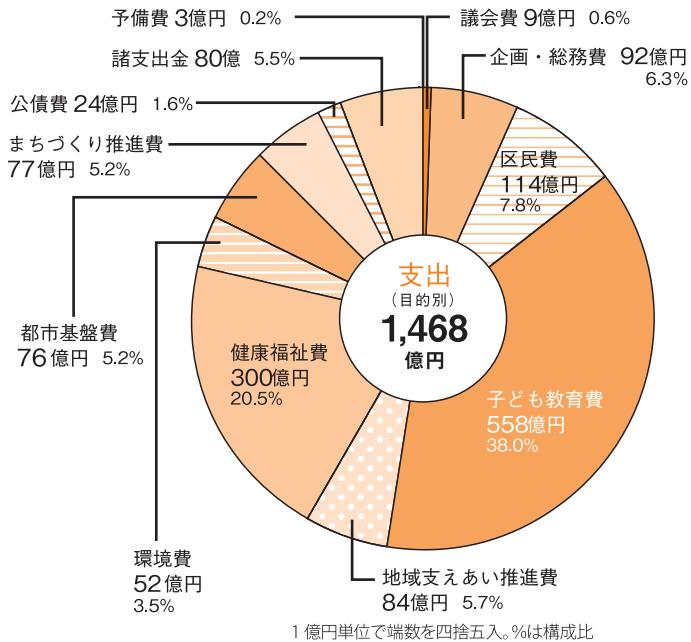


中野区の歳入の半分は特別区税と特別区交付金であります。これは国・都支出金と違い区が自由に使える貴重な財源です。しかし景気の動向に大きく左右されるものであり、**新型コロナウイルスの影響により令和3年度予算では税収が大きく落ち込むことが予想**されます。区民サービスへの影響を最小限に抑える取り組みが今から必要です。



- **特別区税** 住民税、軽自動車税、たばこ税
- **特別区交付金** 法人の住民税と固定資産税を都と区で配分
- **地方消費税交付金** 消費税の約2%は地方自治体に交付
- **負担金・使用料・手数料** 保育料や区の施設使用料、証明書発行等
- **国・都支出金** 使用目的が決まっている国、都の補助金
- **特別区債** 今年度借りたお金です。
- **緯入金** 質金を取り崩したものです。

# 1分で分かる予算の使い道



中野区では、子ども教育費と健康福祉費を重点に予算が使われています。

1468億円の予算を1万円に置き換えると

一般会計の予算(1,468 億円)を1万円に換算



## 子ども教育費

3,798円

学校や子育て支援、図書館の運営など

## まちづくり推進費

523円

災害に強いまちづくりなど

## 健康福祉費

2,046円

健康づくり、障害のある方への援助など

## 都市基盤費

518円

道路、河川、公園の整備など

## 区民費

775円

国民健康保険・徴税事務など

## 環境費

355円

地球温暖化防止対策、ごみ減量など

## 企画・総務費

624円

庁舎維持管理、防災、区報発行など

## 公債費

163円

借金の返済

## 地域支えあい推進費

569円

地域活動やお年寄りへの支援など

## 議会費

61円

議員報酬、政務活動費、議会中継など

## 中野区の貯金と借金は?

貯金 570億円 借金 184億円

令和2年度末見込み

### 借金 借金残高5年間の推計

(単位:億円)

特別区債	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	184	420	499	604	726

学校の建て替えは  
1校あたり45億円



借金は学校建替えと区有施設の更新により、増加傾向となります。一時期に多額の費用を要する施設建設は財政負担の平準化と世代間負担の公平性から、貯金の取り崩しだけでなく借金も活用をします。計画的、多角的な観点から貯金と借金とのバランスある活用をし、**借金の抑制に取り組み、区民生活に影響を及ぼさないよう財政健全化の議論を重ねて参ります。**

貯金570億円のうち180億円は年度間の財源不足などに柔軟に対応するため確保されています。

新型コロナによる経済への影響はリーマンショック時以上と言われております。区財政を無視することは出来ませんが、民需が縮小する場面で公までが支出を抑制すれば経済状況は更に悪化し、不況の長期化を招きます。失業期間が延びれば再就職は困難になり、生活保護も増加する可能性があります。**早期に大胆な手を打つ事が求められます。**

### 区の主要収入の5年間の予測

(単位:億円)

歳入	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
特別区税	351	353	357	357	358
特別区交付金	368	364	374	387	396

コロナで下振れすることが予想される



今後は厳しい財政状況が予想されます。事業の見直しは当然必要ですが、しかし有事の状況下、緊縮財政ではなく、今こそ公共が大きく財政出動し、区民生活を支えなければならないと考えます。